

H. P. R e p o r t

家庭における情報環境について (1)

去年の今ごろインターネットに接続している人はアナログでモデムを使って28.8 k b p sか58 k b p sでの接続が主で、ISDNで64 k b p sでの接続はそれほどではなかったのではないのでしょうか。そこで「アイプラン」というのが出てきて多少とも接続料金が安くなっていたものです。プロバイダへの接続料金も1分いから2時間までいくらなどいろいろあって(あっ、これは今でもありましたっけ)必要なときだけ接続するのが基本であったようです。その中で、今までは常時接続といえどOCNなどだけ(確かにCATVでのインターネットサービスもありましたがあまりメインではなかった気がしますが)で、それも高いため午後11時以降の限定のものが中心であったものが、NTTのフレッツサービスが始まり、64 k b p sで月額額4500円が全国的に始まったかと思えば、首都圏で始まったばかりと考えていたADSLが身近になりつつあります。そして先進国であったように考えていた政府が、よく諸外国を見てみれば、通話料金が高だけでなく高速通信についても遅れ始めていることに気が付き、2005年ごろを目標に高速通信網である光ファイバーを各家庭につないでしまおうと計画しています(確かに全家庭につなぐわけではなく、ADSLやCATVなどを含めてですが)。だいぶ先のことのように考えていた光ファイバーがとうとう家庭まで直接やってくるのです。このような高速な通信回線網が完成するといった各家庭における情報環境はどうなるのか、個人的な考えを中心に書いてみたいと考えています。

まず、高速通信網についてですが、これに使われるのがブロードバンドです。これについては今年になってから特集も組んでいるのでそれを参照してください(もう一度説明しようにも半分わかっていないので違うことを書きそうなので)。ブロードバンドについては今いろいろな会社が参入を始めています。主にはNTTのアナログ回線を利用したADSLですが、その他に電力会社(電柱は電力会社が最も利用しやすいわけですから)が全国で光ファイバーによるサービスの開始を表明し、また、「ゆーせん440」で有線放送を全国で行っている有線ブロードバンドネットワークスがサービスを始めています。首都圏ではこの他にNTTの回線を利用して何社かがサービスしています。もちろんCATVもこれまでのテレビ放送中心からインターネットサービスへと営業品目の拡大を行っています。ただこのうちの電話回線を利用したADSLやCATVでのサービスは下り方向1.5 M b p s、上り方向384 k b p sが最大で、いろいろな条件で通信速度が下がってしまうのが現実でした。CATVについても光ファイバーを使用しているても1つの帯域を全ユーザが分割して使用しているため、接続ユーザ数によって性能が落ちてしまうものでした。私が今回考えてみたいと考えたものは、この程度の通信速度ではなく、光ファイバーを用いて(FTH:Fiber to the Home)インターネットを含む情報通信を行うもので、現在の高速LANと同じ100 M b p sの高速通信網が各家庭まで来た場合のことです。

一般的なLANでもようやく10 M b p sから100 M b p sへの変更がなされた段階ですが(一部必要によってはG i g a b i t LANになっていますが)、その環境が各家庭に来ようとしているのです。これまでのような64 k b p sでは考えられなかった環境となるばかりか、これまではインターネット上で考えられていなかったものも一緒に考えられるようになります。これまでは夢物語であったようなことが現実になります。(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 5月21日号

特集 ブロードバンドは100Mビット/秒から

→とうとうF T T H (Fiber to the Home)のサービスが始まり、2005年ごろまでに一般的に高速常時接続環境が利用できるようになる。100 Mbpsのブロードバンド環境は何をもたらすか。

解説 次世代光ディスクの技術提案大枠決まり、第2ステージへ

→光メモリの国際会議「ODS 2001」で次世代DVDの技術の方向性がほぼそろい、現在4GのDVDが30G以上へとなる可能性が出てきた。

○日経パソコン 5月28日号

特集 知って得する電子メールの「常識」

→電子メールはパソコンばかりではなく、PDAや携帯電話まで使えるようになってこれまでの「常識」が使えなくなっている。これまで簡単に添付していたファイルが条件によって付けられない方がよかったり、不必要なメールの対処もいろいろある。

レポート ここが変わった！ Windows XP

→新しいWindows。どこが変わったか。どこが便利になったか。しかし、いつ頃になったら安心して使えるのか。

○日経バイト 6月号

特集 予算をかけないファイアウォールの作り方

→これまで企業向けシステムでしかいらぬように考えられがちであったファイアウォール。しかし、常時接続が一般化すると家庭でも必要性が出てきている。基礎知識から実際に構築する場合の設定方法まで。

特集 Webブラウザ新時代

→1993年に最初のWebソフト「Mosaic」が登場し、いろいろ表面的にも使いやすくなってきているが、これまで2つの製品が競ってきたが、Webの製作の面からも互換性が求められつつある。現状はどうなりつつあるか。

○日経ネットビジネス 5月25日号

特集 ソニーの野心

→ソニーはIT戦略本部からの提言で高速インターネットの実現を政府に進言し、情報家電の常時接続、放送とインターネットの融合などオールネット化に対応しようとしている。その戦略は。

レポート 未開拓市場にチャンスあり！ シニア向けネットビジネス

→50歳台以上にネット熱が高まってきている。各社はきめ細かいアプローチができると興味を示しているが、決め手に欠け、試行錯誤が続いている。

○N+I MAGAZINE 6月号

特集 解剖・モバイルテクノロジー

→携帯電話やノートパソコンなどのモバイル機器が普及し、ネットワークの使い方が変化してきている。次世代携帯電話の登場によって改めて注目されるモバイルについて現在の姿と未来図を紹介。

特集 ファイアウォール徹底理解
→ファイアウォールを知り、その必要性と仕組みを理解した上で規模と用途で製品を選ぶ。

特集 「LAN」無線/有線接続上手になるコツ50
→LANのシステム設計の基本から、LAN敷設の実際と安定運用までを紹介。

○ASCII 6月号

特集 Internet Explorer 6.0 全機能全解説
→IE 6.0のプレビュー版を中心に、その新機能から完全解説。あわせてOutLook 6.0の全機能の紹介と知っているようで知らないWebサーバの仕組みの解説。

特集 ドットコム崩壊！
→バラ色の未来が合ったはずのドットコム企業。何が問題だったのか。これから中心となるはずだったインターネットを中心としたドットコム企業の崩壊について考えてみる。

○PC STYLE 21 6月号

特集 パソコンで楽しむTV録画&DVDビデオ
→パソコンにTVチューナを搭載し、DVDプレーヤを搭載する。TVの録画はHDDに簡単予約もできる。製品の紹介。

○アスキー・PC 7月号

特集 デジカメ写真上出来印刷術
→デジカメの写真を印刷してがっかりしないために。きれいに見えるが増資郵政の方法と印刷の実践講座。

特集 まるごと引越し ハードディスク交換
→注意しないとデータの消失につながるハードディスクの交換。交換前の準備から実際のデータコピーの方法まで。

○DOS/V magazine 6月15日号

特集 ギガモバイルノートPC新時代
→A4のハイエンドパソコンはギガのCPUを搭載する。すでにデスクトップとの性能の差は無くノートは新しい段階に入っている。

特集 「書き込み型DVD」を理解する
→なかなか出てこない書き込み方DVD。それに対してCD-R/RWはいつのまにかFDDにとって変わろうとしている。これからの記憶媒体である書き込み方DVDについてその技術動向とタイプ別メリットを探る。

特集 ADSLを使いこなす三つのツボ
→サービスが始まり急速に増えつつあるADSL。その仕組みとセキュリティなどについて。